

年頭のごあいさつ



活力と魅力ある まちづくりを目指して

厚真町議会議長

渡部 孝 樹



快適で活力に満ち 健やかでそれぞれの世代が 輝くあつまを目指して

厚真町長

宮坂 尚市朗

2016年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまとともに心からお慶び申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解・ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的に集中豪雨などの異常気象が多発する中、本町は比較的穏やかな天候に恵まれ、農作物の作柄は全般的に良好でした。水稲も5年続けての豊穡の秋を迎えることができ、あらためて農業者の皆さまや関係機関のご努力に敬意と感謝を申し上げます。一方で、10月には、日本農業の将来にかかわるTPP交渉が大筋合意となり、貿易全品目で95%の関税撤廃、農林水産物では81%の品目が、また、米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物の農産物重要5品目では30%の品目について関税撤廃されることになり、聖域と期待された品目についてもマークアップや関税の段階的引き下げ、輸入枠の拡大など、主業地帯への影響が懸念される内容でありました。また、集団的自衛権を担保する安保関連法案が可決されるなど、今後の国の行方を左右する重要事案が矢継ぎ早に決定された年でもありました。

こうした中、本町では8月に厚幌ダム建設の定礎式が北海道知事を迎えて執り行われ、現在、平成30年度供用開始に向けて昼夜兼行で工事が施工されております。関連する国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業、統合簡易水道事業なども厚幌ダム建設に合わせ進められており、町民の悲願であった水害のない安全で安心なまち、効率的で汎用性の高い生産基盤が実現しようとしています。これまでご協力いただきました関係各位にあらためて感謝申し上げます。

日本全体が人口減少社会を迎える厳しい時代であり、特に地方においては地方創生という新たな課題に早急かつ重点的に取り組む必要があります。本町でも「厚真町まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」総合戦略を昨年秋季に策定しました。安全・安心をもたらし社会基盤の整備、産業や地域社会を担う人材の育成、地域特性を生かした新たな挑戦への支援など、各分野において、関係各位が主体性（自発性）、多様性（総合性）、革新性を発揮していただき、町民の皆さま

町民の皆さま、明けましておめでとようございます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい平成28年の新春を、健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日ごろから議会に対しましては、温かいご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、「戦後70年」日本の歩んだ道をあらためて振り返ることもなつた節目の年でもありました。特に、我が国および国際社会の平和と安全を確保するための「安全保障関連法」の成立においては、世論を二分するほどの意見の対立がありました。その中において、これまで政治に無関心と思われていた若者の主張や行動が連日大きく報道されました。これら若者の政治への関心度の高まりは、1960年代の学生運動以来といわれており、国民の政治離れに一石を投じることにもなりました。奇しくも70年ぶりの選挙権年齢の改正により、選挙権が18歳以上に引き下げられ、国政選挙としては、今年夏の参議院議員選挙から適用される見通しとなっていることも、絶好のタイミングであると言えます。

また、北海道農業に大きく影響を与えるTPP交渉については、日米など参加12カ国が大筋合意したこと、日本も農産物関税の撤廃や削減が決まり、農業者の懸念が高まった年でもありました。

本町におきましては、3月10日の大雪で農業ハウスの被害や春作業の遅れが生じましたが、その後の好天と生産者の栽培努力によって、水稲をはじめとする農作物も順調に生育し、一部の作物を除いて豊穡の秋を迎えることができました。この

の総力を結集して、快適で活力に満ち、健やかでそれぞれの世代が輝くあつまを目指してまいります。

折しも、本町の今後10年間のまちづくり構想を定める「厚真町第4次総合計画」をはじめ、重要分野別計画では、関係機関における農業・農村振興施策を統合整理する「第7次厚真町農業振興計画」と本町が目指す教育の方向性を明らかにする「厚真町教育振興計画」を策定中であり、いずれも新年度からスタートする重要な計画でありますので、町民の皆さまには、懇談会、パブリックコメントなど策定段階からの参加をお願いします。

今年の干支は丙申ですが、形がハッキリするという成長段階を表す年と言われており、ただ待つだけではなく積極的に行くことが良いとされ、まさに本町の新たなスタートには絶好の年でもあります。春には、厚南地区で建設中の認定こども園と児童会館が完成し、併せて児童保育と放課後教室の一元化を図ることで、幼児からの一貫した教育環境が整います。昨年度に引き続き建設している子育て支援住宅と移住・定住施策の充実により、子育て世代の転入も徐々に増加しており、また、近隣からも高い評価を受けている学校教育の取り組みは、子どもたちの「生きる力」を育み、「全国学力・学習状況調査」において継続して好成績を収めるなど、着実な成果を上げています。

田園回帰のムーブメントの中、食料とエネルギーと環境が整う本町は、創造的な活動の拠点として、あるいはさまざまな挑戦を試みる地として各世代から支持され、選択してもらえる可能性が高いと考えています。私たちの使命である「豊かな森と海、輝く田園を次世代へ引き継ぐ」ためにも、町民の皆さまには変わることなくフロンティア・スピリッツを発揮し、強く向き合っていたいだきたいと思っております。

厚真町にとって2016年が大いなる飛躍の一年となるよう、職員とともに全力を傾注してまいりますので、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

ことは、それぞれの農家の皆さまをはじめ、それを支える方々の努力のたまものであり、出来秋をお喜び申し上げますとともに、関係の皆さまのご尽力に対しまして、心より感謝を申し上げます。とさせていただきます。

さて、本年は、道民待望の北海道新幹線が、いよいよ3月26日に開業する記念の年でもあります。この開業により、観光産業を中心とした経済効果など、北海道の活性化に大きな期待が寄せられています。

本町におきましては、新しいまちづくり計画であります「第4次厚真町総合計画」のスタートの年でもあります。現在、国全体の大きな問題となっている「人口減少」にも対応した、長期的に持続可能なまちづくりを住民と行政が協働で推進していくための指針が示されます。

議会といたしましても、活力と魅力あるまちづくりを目指し、町民の皆さまの意思を町政に反映するために、議会活動に積極的に取り組んでまいります。どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。と、町民の皆さまのより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

※公職選挙法の規定により、議員から町民の皆さまへの年賀状は失礼させていただきます。ご理解をお願いします。